

# 「ボランティア社会の可能性」

お金とものを求め続けた産業社会  
私たち日本人が追い続けた産業社会の後に、  
どのような社会が到来するのだろうか  
その兆しを、様々な市民活動、ボランティア活動に探る  
そして、私たち市民は今、何ができるのかを語り合う



## とき

平成15年11月30日(日)  
13:00~15:00(開場12:30~)

## ところ

茨城大学 共通教育棟2号館1階10番教室  
水戸市文京2-1-1(会場へは公共の交通機関をご利用願います。)  
会場収容数190名(先着順受付)

**入場無料** どなたでも参加できます(申し込み不要)

〈問い合わせ先〉 ●茨城大学総務部地域連携推進室生涯学習係 TEL 029(228)8413  
●茨城県教育庁生涯学習課振興担当 TEL 029(301)5318

主催/茨城大学・茨城県教育委員会 後援/茨城新聞社・大好きいばらき県民会議

コーディネーター 茨城大学生涯学習教育研究センター長 松井 宗彦  
シンポジスト 茨城大学生涯学習教育研究センター助教授 長谷川 幸介  
伊達市地域生活支援センター所長 小林 繁市  
水戸市社会福祉協議会・ボランティア振興係長 井上 利昭  
(敬称略)